

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 9 月 3 日 (2020.9.3)

【公開番号】特開 2018-40799 (P2018-40799A)

【公開日】平成 30 年 3 月 15 日 (2018.3.15)

【年通号数】公開・登録公報 2018-010

【出願番号】特願 2017-171651 (P2017-171651)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/48 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 N 33/48 C

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 27 日 (2020.7.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 7 】

1 a) で調製した試料の全てから、部分量を A P T T の測定のために使用した (アッセイ結果 1)。1 a) で調製した試料の各々の第 2 の部分量を $133000 \times g$ で 1 時間遠心分離し、脂質枯渇相を A P T T 測定のための試料として使用した (アッセイ結果 2)。遠心分離が影響を有しない場合、遠心分離した一定分量のうちの脂質枯渇相は、遠心分離していない試料と同じ分析物量を含むはずである。各試料の 2 つのアッセイ結果 (秒での凝固時間) を互いに比較し、%での相対的差を計算した $100 \times (\text{アッセイ結果 1} - \text{アッセイ結果 2}) / \text{アッセイ結果 2}$ 。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 8 】

2 a) で調製した試料の全てから、部分量をプロテイン C の測定のために使用した (アッセイ結果 1)。2 a) で調製した試料の各々の第 2 の部分量を $133000 \times g$ で 1 時間遠心分離し、脂質枯渇相をプロテイン C 測定のための試料として使用した (アッセイ結果 2)。遠心分離が影響を有しない場合、遠心分離した一定分量のうちの脂質枯渇相は、遠心分離していない試料と同じ分析物量を含むはずである。各試料の 2 つのアッセイ結果 (基準量の %) を互いに比較し、%での相対的差を計算した $100 \times (\text{アッセイ結果 1} - \text{アッセイ結果 2}) / \text{アッセイ結果 2}$ 。